

第5回部会における検討項目

タイプ	第4回部会での発言	第5回部会での検討項目
①不登校生徒を対象とした中高一貫校	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校は、地域課題ではなく、全国的な課題。 ・いわゆる不登校予備軍への対応は非常に大変。障害を抱えている生徒も多い。こうした子を取りこぼさないようにすべき。 ・不登校生徒を対象とした中高一貫教育は、探究型と同じくらい時間をかけて議論すべき。不登校対策は、既存の高校にクラスをつくるだけでは足りない。導入するならば、アクセスの良さも大事ではないか。 	<p>○不登校特例校を参考としてどのような内容とするか。</p> <p>(参考事例)</p> <p>八王子市立高尾山学園小学部・中学部（東京都） 岐阜市立草潤中学校（岐阜県）</p>
②外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校	<ul style="list-style-type: none"> ・外国にルーツのある生徒は、学力差が大きいいため、ターゲット層を決める必要がある。 ・愛知県は外国人の割合が多く、全国のモデルになると良い。 ・外国にルーツのある生徒は、義務教育終了後が課題となっており、一つの方策として考えられるのでは。 	<p>○ターゲット層をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語が教科学習の壁となっているが、学習意欲が高い生徒 等
③地域を支える人を育てる中高一貫校	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に連携型が減少傾向にあることが心配。都市近郊における連携型中高一貫として、新しいモデルになると良い。 ・連携型になると、今と何が変わってくるかイメージが分からない。 	<p>○連携内容をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した遠隔合同授業・授業公開 ・合同部活動 ・高校生の地域活動を単位認定 等
④AI・データサイエンスに興味をもつ生徒を対象とした中高一貫校	<ul style="list-style-type: none"> ・IT分野をリードする人材の育成が課題であるので、中学段階からIT人材の育成が出来ると良い。 ・ものづくりに関する中高一貫教育は魅力的だと思う。 	<p>○中学段階でのものづくりの専門性をどうするか</p> <p>(参考事例)</p> <p>横手清陵学院中学校・高等学校（秋田県）</p>